

第1学年「生活科」シラバス

1年生ではこんな学習をします

学習の目標

自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、地域のよさに気づき、愛着をもつことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、安全で適切な行動ができるようにします。

自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心を持ち、自然のすばらしさに気づき、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにします。

身近な人々、社会及び自然とのかかわりを深めることを通して、自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信をもって生活することができるようにします。身近な人々、社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付いたことや楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの方法により表現し、考えることができるようにします。

学習の方法

見る・聞く・ふれる・作る・探す・育てる・遊ぶなどの具体的な活動やそれに基づく表現活動を多く取り入れます。

学校に近い見立山や二葉山を活動の拠点として、四季を通して自然とかかわる学習活動を展開します。

二年生や地域の人など、いろいろな人との交流を深めるような体験活動を行います。

学習の評価

生活科では次の観点で評価します。

「進んで身近な人々・自然・社会とかかわろうとする。」

行動観察、発言、学習カードなど

「活動や体験について自分なりに考え工夫して、素直に表現する。」

行動観察、発言、つぶやき、学習カード、作品など

「活動や体験を通して自分のよさや身近な人々・自然・社会とのかかわりなどに気付く。」

発言、つぶやき、学習カード、作品など

おうちの方へのお願い

生活科は、学習の対象や場が子どもの生活であるため、保護者の皆様に直接かかわっていただくことやご協力をいただくことが必要です。学習の意図や学習活動を詳しくお伝えし、共通理解を図りながら進めてまいりたいと思います。

年間の学習計画

| | 学習する単元 | 学習の内容 |
|----------------|--------------------------|---|
| 前期 48 時間 | 1 ときどき わくわく1ねんせい | 学校での基本的な生活習慣について話し合います。 自己紹介やゲームを通して、友達の名前を覚えます。 |
| | 2 がっこう だいすき | クラスごとに学校探検をし、見つけたものや気づいたことを教え合います。 学校の人と話をしたり、質問したりして、学校生活を支えている人々のことを知ります。 校庭の草花や虫を観察したり、校庭の施設を利用したりして、見つけたことや気付いたことを話し合います。 |
| | 3 きれいにさいてね たくさんさいてね | 学校の周りを歩き、安全を守っている人々や施設を見ます。 朝顔の種をまき、世話をする。成長の記録をカードに書きます。 |
| | 4 なつだ いっしょにあそぼうよ | 遊び場や野原へ出かけて行き、みんなで遊びながら人や自然と触れ合います。 夏に適した遊びや土や砂、水などを使って友達と仲良く遊びます。 |
| | 5 いきものと なかよし | 身近な生き物とのふれあいを通して、気づきや感想を様々な方法で表現します。 |
| | 6 きれいに さいてね たくさん さいてね | 朝顔の世話や観察をし、夏休みに種取りをします。 |
| 後期 54 時間 | 7 たのしさ いっぱい あき いっぱい | 秋の自然で遊ぶ楽しさや、自然や生活の変化の様子について考えます。 公園や野原などへ行き、遊んだことや見つけたことをカードに書いたり、公園に来ている人とかかわったりします。 |
| | 8 あきのおもちゃ だいしゅうごう | 朝顔のつるや種などを使った造形活動をします。 集めた落ち葉や木の実で飾りやおもちゃを作ります。 |
| | 9 みんな いっしょに | チューリップやすいせんの球根を植え、世話をします。 自分でもできる家庭の仕事や自分でやってみたい仕事を調べる計画を立てます。 |
| | 10 ふゆを たのしもう | 自分の上靴を洗う。他にもできることを見つけて家でやってみます。また、仕事をした感想を発表し合います。 校庭で冬の自然とかかわり、冬らしさを見つけみんなと一緒に冬の遊びを楽しみます。 |
| | 11 もうすぐ 2ねんせい | 地域の人を招いて、昔の遊び方のコツを教えてもらい、楽しく遊びます。 1年間の思い出を振り返り、絵やカードの整理をします。 教室をきれいにし、メッセージや飾り付けをして1年生を迎える準備をします。 |